

臨時増刊
予算特集号
2016 4/25
No.1154

広報長岡京

新しい事業が
いっぱい！

子どもたちの明るい未来へジャンプ！
第4次総合計画
スタート！

(4月12日 建て替え工事が完了した神足小学校と、同敷地内に移転した開田保育所の児童たち)

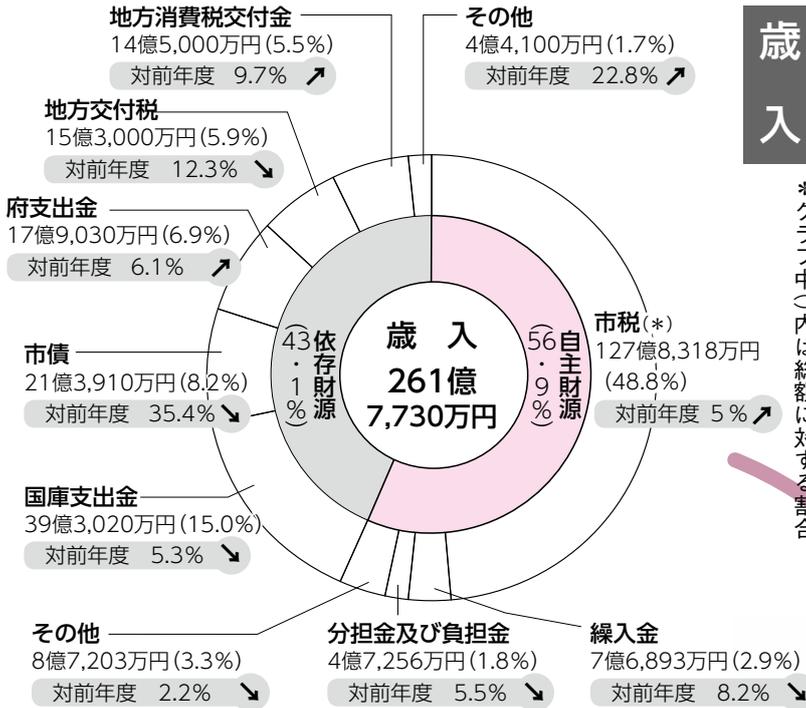
第4次総合計画がスタート。

「住みたい住みつづけたい

悠久の都長岡京市」を目指して

歳入

*グラフ中()内は総額に対する割合



(*)市税の内訳

区分	28年度	昨年度からの増減
市民税	個人	49億5,197万円 / 9,944万円 / 2.0%
	法人	14億2,712万円 / 3億5,773万円 / 33.5%
	計	63億7,909万円 / 4億5,717万円 / 7.7%
固定資産税	49億8,450万円	1億3,013万円 / 2.7%
軽自動車税	8,290万円	1,079万円 / 15%
市たばこ税	3億7,570万円	△370万円 / △1.0%
都市計画税	9億6,099万円	1,296万円 / 1.4%
合計	127億8,318万円	6億735万円 / 5.0%

*表の△は、マイナスを表しています。



今年度の一般会計の予算総額は、261億7730万円。前年度と比べて約8億90万円(3.0%)減少しました。限られた財源の有効活用を図るため、事業を一から見直し、視野を広くしながら重点施策へ優先的に予算を配分しました。みなさんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをお知らせします。

問 財政課 財政係

TEL 955・9541

FAX 951・5410

歳入

▽市税のうち「法人市民税」は3億5773万円(33.5%)

まちづくりの

新たなスタート

長岡京市長 中小路健吾



市民のみなさまには、日ごろ、市政運営に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本市の平成28年度予算の詳細は、この紙面の内容とおりでございますが、私の思いの一端を申し述べたいと存じます。

本年度は、第4次総合計画の第一歩を踏み出す、という重要な意味があります。そのうちの第1期基本計画を着実に実行するためにも、事業費にメリハリをつけた予算といたしました。特に重要な3つ

の増収、市税全体では6億735万円(5%)の増収

▽国や府から交付される「依存財源」は一部市税と補完関係にあること、また、小中学校施設耐震化事業が完了し、市債が減少したことなどから、12億9222万円(10.3%)の減収

歳出

目的別(円・増減)

- ▽「民生費」は公立・民間保育園や認定こども園、小規模保育施設の運営経費が増えたことなどにより増額
- ▽「土木費」は西山公園体育館の改修工事などにより増額
- ▽「教育費」は小中学校耐震化事業の完了などにより減額

性質別(左表)

- ▽社会保障に使われる「扶助費」は保育所運営の経費や障がい福祉サービス費が増えたことから増額
- ▽「公債費」は臨時財政対策債や小中学校耐震化の地方債の償還などにより増加
- ▽「繰出金」は介護保険事業特別会計などへの繰出が増えたことなどにより増額

歳出(性質別)

経費を人件費や物件費などの性質によって分類

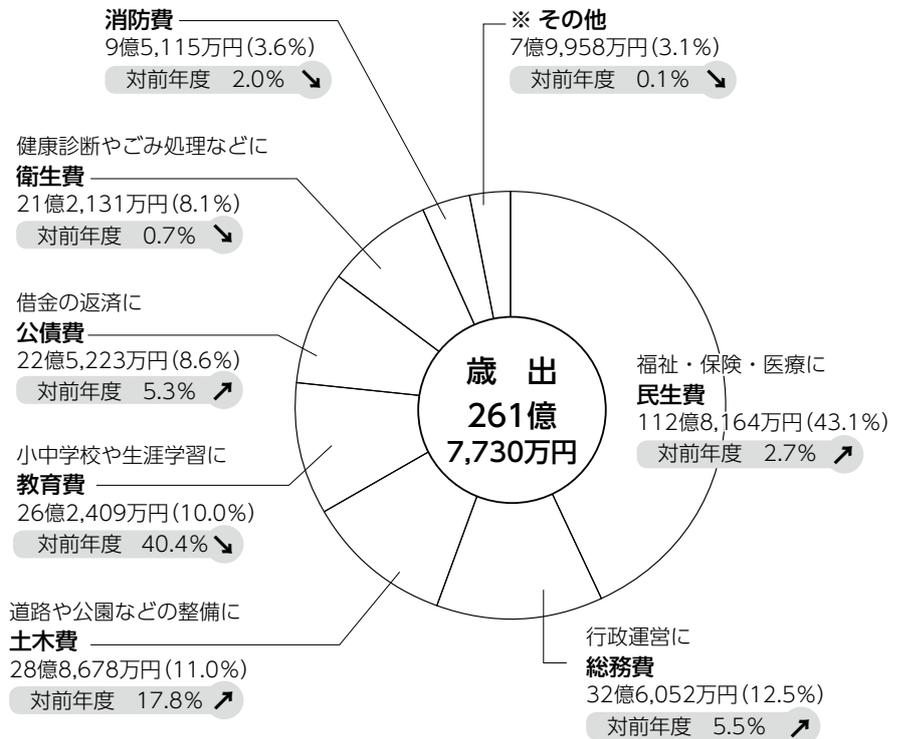
区分	予算額	構成比 (対前年度比)
義務的経費 (構成比51.8%)	人件費	47億8,750万円 18.3% (△1.4%)
	扶助費	65億1,306万円 24.9% (5.0%)
	公債費	22億5,223万円 8.6% (5.3%)
消費的経費 (構成比26.5%)	補助費等	35億2,122万円 13.4% (1.1%)
	物件費	32億9,311万円 12.6% (2.9%)
	維持補修費	1億2,714万円 0.5% (2.6%)
投資的経費 (構成比7.1%)	普通建設事業費	18億6,388万円 7.1% (△42.1%)
その他経費 (構成比14.6%)	繰出金	32億9,531万円 12.6% (1.9%)
	積立金	3億5,539万円 1.4% (0.0%)
	貸付金	1億3,648万円 0.5% (0.0%)
	その他	3,200万円 0.1% (0.0%)

* グラフや表の金額は、単位(万円)未満を四捨五入しています。

* 表の△は、マイナスを表しています。

歳出(目的別)

経費を行政サービスの目的ごとに分類
* グラフ中()内は総額に対する割合



※ その他の内訳

議会費	2億9,217万円 (1.1%)	対前年度 9.4% ↓
農林水産業費	1億1,353万円 (0.5%)	対前年度 1.1% ↓
予備費	3,200万円 (0.1%)	対前年度 0.0% →
商工費	2億6,332万円 (1.0%)	対前年度 19.2% ↑
労働費	9,856万円 (0.4%)	対前年度 10.4% ↓

の戦略目標として「定住促進」、「交流の拡大」、「まちの新陳代謝の促進」を掲げております。

その上で、「6つの柱建て」を予算に反映させました。まず『子ども』ですが、長岡京子育てコンシェルジュ事業、産後ケア事業を始めます。中学校給食の導入も進めます。『くらし』では、地域医療ビジョンの策定に着手します。『かがやき』の面で、自治会を組織していない地域への働きかけ、中央公民館と西山公園体育館の空調など設備を充実させます。

『まち』に焦点を当て、市庁舎の更新整備、阪急・長岡天神駅の周辺整備計画、空き家の活用も大切です。農業体験交流の新事業を行い、災害ボランティアセンターに新たに専任職員を置きます。『みどり』では、ごみ減量、西国街道整備を重視しました。『けいせい』として、情報発信、市の魅力発信を強化します。

最後になりましたが、「住みたい 住み続けたい 悠久の都 長岡京」という将来都市像に向けた予算執行は、成果を重視し、スピード感を持ち、徹底した対話のもと、きめ細やかに進めてまいります。

柱1 こども

子育て支援の充実や安心・安全の確保

産み育てる環境の整備

安心して子どもを産み育てられる環境を充実させるため、妊娠期から切れ目のない子育て支援、経済的な負担の軽減などを行います。

新長岡京子育てコンシェルジュ事業を開始 ……144万円

↓妊娠前から子育て期までの相談体制の整備

新発達障がい児(者)支援事業の開始 ……320万円

↓関係機関が一丸となって早期から切れ目無く支援する体制の整備

充認可外保育施設を利用する人への助成 ……1892万円

就学前教育・保育の充実

待機児童を解消し、子育てしながら

ら安心して働ける環境を整備するため、保育所の改修や、多様な需要に応じた保育サービスを行います。

充保育所施設の整備

……1億3652万円

↓保育所増改築により待機児童の解消を図る

学校教育の充実

子どもが学校・家庭・地域で学びながら生きる力を培っていくため、学習環境の充実や中学校給食の導入、学校施設の改修などを行います。

充学校給食の実施

↓小学校給食の継続実施と、中学校給食導入の推進 ……1億9028万円

新学びをはぐくむ土台づくりの支援 ……1145万円



神足小学校敷地内に移転した開田保育所

↓学力向上サポーターなどにより学力向上をめざす

新小中一貫教育の研究 ……11万円

充中学校施設安全・快適整備事業

……1億9280万円

↓長岡中学校体育館の防災機能を強化する工事や、長岡第四中学校体育館のトイレ改修工事など

地域子育ての支援

地域ぐるみで子どもを育てる気運を高め、地域の子育て支援活動の充実を図ります。

充放課後児童クラブの育成

……2億9149万円

↓子どもの居場所・交流の充実のため、長五小・長十小放課後児童クラブの施設整備など

柱2 くらし

保健・医療の充実

限られた医療資源の適正利用を進め、市民の健康寿命の延伸を図ります。

新地域医療ビジョン(長岡京市版)の策定 ……12万円

↓市域の医療資源を有効活用し、医療体制の充実を図る

地域福祉・生活の安定

地域での支え合い、助け合い活動と連携し、市民の安心と生活の安定に努めます。

充総合生活支援センターの管理運営 ……8288万円

↓地域福祉の向上のために、きずなと安心の地域づくり応援事業を開始

社会保障の充実

生活困窮者の自立支援などセーフティネットを充実させます。市民の健康と生活の安心のため、年金・医療・介護保険などの制度を適正に運用します。

充生活困窮者自立支援事業

……488万円

↓就労準備支援メニューの拡充など

柱3 かがやき

地域活動・市民活動の促進

住民自治活動や市民活動を応援するため、相談や情報提供など、支援を充実させます。

新自治会未組織地域における住民自治活動の支援 …… 4万円

↓地域課題の解決に向けた検討や、住民の親睦を目的とした活動に対する財政的支援により、新規自治会設立を促進

生涯学習・文化・スポーツの充実

文化・生涯学習活動を拡大し、スポーツを楽しむ機会を増やすため、西山公園体育館の改修などを行います。

↓文化・芸術のまちづくり …… 519万円

↓長岡京音楽祭を継承・発展
↓西山公園体育館の維持管理

…… 4億6194万円
↓屋根などの改修や、全館空調設備の整備

柱4 まち

観光振興・創業支援で市内の経済活動を活性化 まちの新陳代謝を促進

市街地の整備

市役所や各鉄道駅を中心としたエリアの整備やその検討、空き家活用の検討などを行い、都心拠点の充実と市街地の魅力向上を図ります。

充JR長岡京駅関連整備

…… 1億9601万円

↓JR長岡京駅エスカレーターの取り替え

新市庁舎の建て替えと周辺整備

…… 1756万円

↓現在の敷地と開田保育所跡地を活用し、庁舎の建て替えや周辺整備を進める

新空き家対策の推進

…… 1026万円

↓空き家データベースの整備

道路・交通の整備

誰もが移動しやすいまちを実現するため、道路の整備や交通ネットワーク

の充実を図ります。

充コミュニティバスの運行

…… 1802万円

↓祝日運行の実施や、バス停の設置

産業の振興

創業支援や観光戦略の検討などにより、商工業や観光の振興を図ります。プレミアム商品券には、子育て世帯へのプレミアム率の上乗せをするなど、子育て支援を拡充しながら消費を喚起します。農業は、農業を知るきっかけとなる事業を展開し、営農支援を行います。

新創業支援事業の開始

…… 81万円

↓創業のために活動する人を支援する「インキュベーションセンター」の設置により、創業希望者への支援体制を整備

充観光誘客のための環境整備

…… 1億115万円

↓道の駅的施設の設置検討、大型バ



建て替えを予定している市役所庁舎

ス駐車場の整備、ウォーターアクトプロジェクトの環境の整備

充特産物の育成

…… 254万円

↓農業体験交流事業など

防災・安全の向上

防災設備の整備や災害ボランティアセンターの充実、雨水対策の強化などにより、都市防災機能の向上を図ります。

充災害対策事業の充実

…… 2億3496万円

↓(仮称)南部地域防災センターの整備

新防災情報伝達手段の整備

…… 776万円

↓デジタル防災行政無線の導入、各小中学校・公立保育所に緊急地震速報受信装置を整備

充災害ボランティアセンターの充実

…… 594万円

↓災害に強いネットワーク体制の整備

柱5 みどり



美しい西山の森を守る整備活動

環境との共生

市民・企業などと協働で西山森林整備を進めます。また、良好な生活環境を保つための啓発活動を行います。

充 西山における森林整備の推進

：1283万円

↓西山の森林機能の維持回復

循環型の社会づくり

省エネルギー化の支援や、ごみの減量、適正処理により、環境負荷の軽減を促進します。

充 省エネ・省CO2整備推進

：295万円

↓住宅エコリフォーム制度を開始
充 一般廃棄物などの適正処理・減量化啓発
：7億695万円
↓ごみ減量アプリを利用したお知らせサービスの開始

都市景観の整備

西山や西国街道など長岡京らしい景観を保つため、景観計画の改訂に向けた検討や、みどりの基本計画の改定、公園などの維持・整備などを行います。

新 西国街道の整備 : 4600万円

↓歴史建造物などと調和する石畳風舗装の整備

柱6 けいせい

魅力の発信

長岡京市の魅力を戦略的に発信し、シティブランド力の向上と交流人口の増加を目指します。

充 市政情報等発信管理事業の充実

：775万円

↓シティブロモーションの推進に向けたガイドラインの策定と情報発信

新 ふるさと納税を活用した市の魅力発信

：7万円

↓ふるさと納税の活用促進



勝竜寺城公園とお玉ちゃん

借金と預金は？

市債(借金)

増加傾向にありますが、国からの地方交付税の不足分を穴埋めする「臨時財政対策債」が4割以上を占め、その返済費用は、次年度以降に国から全額交付されます。

市債(借金)残高の推移

24年度末	236億5,173万円
25年度末	252億3,605万円
26年度末	265億65万円
27年度末	285億9,237万円
28年度末	288億541万円

財政調整基金(預金)

「財政調整基金」は、大幅な税収の減少や災害発生など思わぬ支出の増加に備えた積み立てです。出来る限り取り崩し額を抑えるなど、維持に努めています。

財政調整基金(預金)残高の推移

24年度末	25億9,801万円
25年度末	28億5,464万円
26年度末	28億6,250万円
27年度末	28億7,101万円
28年度末	25億1,922万円

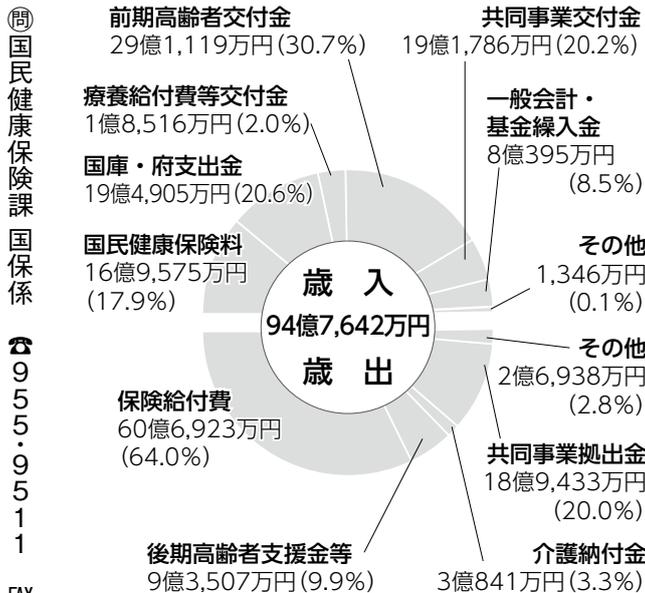
*市債、基金ともに数値は一般会計。平成27・28年度は見込み額です。

一般会計の他には？

ここからは、特別会計と水道事業会計の予算をお知らせします。どちらも一般会計とは別に経理しています。特別会計は、特定の事業を行うための会計、水道事業会計は公営企業の会計です。

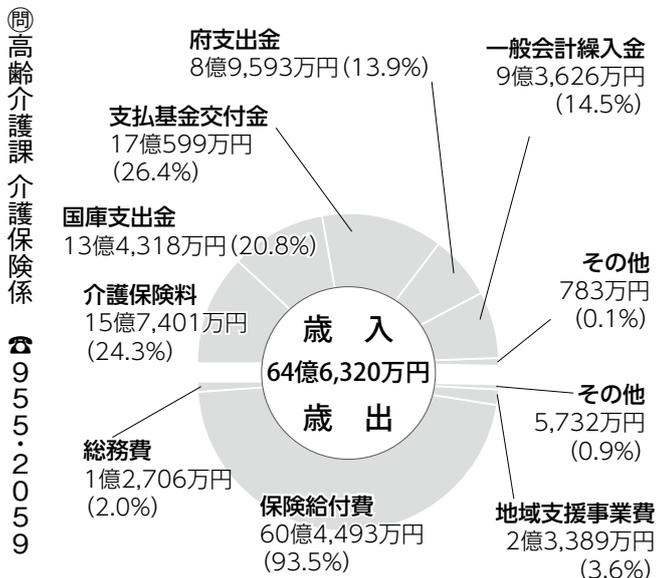
国民健康保険事業の特別会計

前年度と比べて1億1478万円（1・2％）増加しました。後期高齢者医療や介護保険等の社会保障制度を支えるための経費が、やや減少する一方で、医療給付や府内の市町村間で医療費の負担を分け合う共同事業の額は、やや増加する見込みです。国民健康保険の主な財源は、加入者が納める保険料や、国・府からの支出



■予算の推移

年度	歳入 (万円)	増減率 (%)
24年度	81億6,134	
25年度	83億9,747	
26年度	83億7,680	
27年度	93億6,165	
28年度	94億7,642	1.2% ㊦



■予算の推移

年度	歳入 (万円)	増減率 (%)
24年度	49億5,724	
25年度	51億3,873	
26年度	55億 886	
27年度	60億 6,906	
28年度	64億 6,320	7.5% ㊦

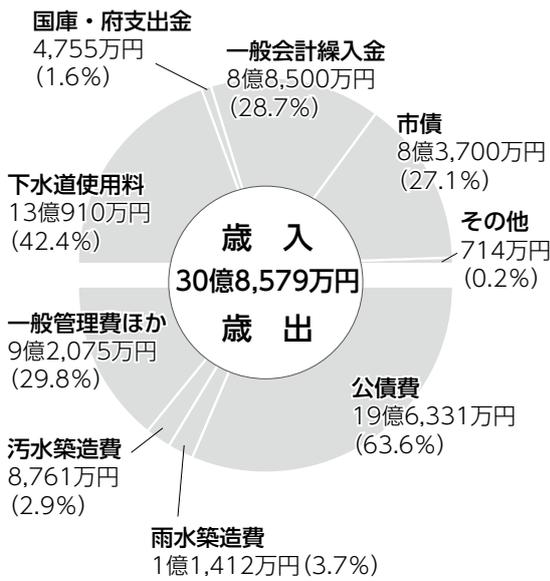
国民健康保険課 国係 ☎ 955・9511 FAX 951・1929
 高齢介護課 介護保険係 ☎ 955・2059 FAX 951・5410

公共下水道事業の特別会計



前年度と比べて約5750万円（1.8%）の減額となりました。歳出では、建設費などの借入金返済（公債費）が特に大きく、全体の約64%を占めています。現在、元利償還のピークを迎えており、数年後からゆるやかに減少する見込みです。本市の下水道事業は、建設中心の経営から老朽化対策などの維持管理経営へと転換しており、汚水事業・雨水事業とも長寿命化計画を策定して計画的に改築更新しています。また、今後の維持管理経営をより安定化させるため、企業会計方式の導入準備に着手しており、平成29年4月1日から導入を予定しています。

■本年度の主な事業内容
 汚水事業では、「長寿命化計画」に基づく改築更新を進めると共に、新たな計画策定のための施設調査をします。また、災害時に避難所となる中央公民館に、災害用マンホールトイレを設置します。雨水事業では、「南幹線」に関連する計画策定と、犬川排水区の流量保持に関連する調査をします。水循環再生プラン事業では、浸水被害の軽減、地下水の涵養および既設の災害用マンホールトイレの排水用水を兼ねた雨水貯留浸透施設を、第九小学校と第四中学校へ設置するための設計をします。



■予算の推移

24年度	32億3,997万円	
25年度	30億1,676万円	
26年度	29億4,889万円	
27年度	31億4,329万円	
28年度	30億8,579万円	1.8% ↓

水道事業会計



水道事業は公営企業として、市の一般会計や特別会計とは別に、料金収入などをもとに独立採算制で運営しています。

水道事業会計は、その年の経営活動を明らかにする「収益的収支」と、投資的経費として水道施設を整備・更新するための「資本的収支」があります。

■将来にわたる安定した水供給

本市の水道事業の将来像を示した「水道ビジョン」実現に向けて、平成27年度～31年度までの5カ年を計画

期間とする「水道事業中期経営計画後期計画」をもとに予算を編成しました。

主な事業は、より効率的で安定した水運用を図るため、北受水池築造第2期工事を行い、受水池を増設します。あわせて基幹管路の耐震化や鉛製給水管の取り替え、老朽化した配水管の更新を行います。また、地下水を将来にわたって活用するため、より安全な処理を行う浄水施設を設置する工事を昨年度に引き続き行います。

■収益的収支 (税込み)

収益的収入	水道料金	18億6,927万円
	受託工事収益	1億662万円
	一般会計補助金	5,586万円
	長期前受金戻入	1億6,677万円
	特別利益	3万円
	下水道徴収受託料ほか	8,489万円
計	22億8,344万円	
収益的支出	府営水道受水費	7億8,508万円
	減価償却費	4億7,367万円
	人件費	1億9,979万円
	受託工事費	9,929万円
	修繕費	1億2,548万円
	特別損失	250万円
	動力費ほか	4億9,769万円
	計	21億8,350万円
当年度純利益	9,994万円	

■資本的収支 (税込み)

資本的収入	企業債	2億1,000万円
	加入金・分担金	6,123万円
	負担金	250万円
	固定資産売却代	3万円
	計	2億7,376万円
資本的支出	建設改良費	5億4,498万円
	企業債償還金	2億2,199万円
	計	7億6,697万円

問 上下水道部 下水道課 総務係

☎ 955・9714

FAX 953・3505

問 上下水道部 総務課 水道係

☎ 955・9538

FAX 951・2200